

最近経験し考えさせられたこと

齊藤和美

なごみ皮膚科(海老名市)

先日会報「神皮」に何でもよいので執筆をとの依頼を受け、普段から大したことを考えてもいず、毎日をこなすばかりの生活を送っている私は何を投稿しようかと考えていました。割と最近ある患者さんと向き合い、考えさせられたことがあり、つらつらと書いてみます。

今年の1月半ば89歳の男性が来院しました。右三叉神経第三枝の帯状疱疹でした。薬手帳は家に忘れてきていましたが、アルツハイマーの内服があり歯科にも通院しているとのことでした。覚えられないからと手持ちのキャンパスノートに家から持参した質問内容が書かれており、また今日聞いた内容を聞き漏らさないように懸命にノートにメモをしていました。それでも『帯状疱疹』という病名や疾患が理解できず、何度も何度も聞き返し、何度も同じような質問をし、『帯状疱疹』とメモを渡してもきちんと書き写せていないようでした。そして最後に『帯状疱疹はこんな病気』というパンフレットを渡しました。また家から持参した質問とともに、カロナール[®]とアセトアミノフェン[®]をそれぞれ1日3回内服で10日分もあろうかという量を持参し、どんな時に内服できるか質問してきたため、抗ウイルス薬(アメナメビル[®])と外用薬のみ処方し、痛み止めとしては持参した内服薬の飲むタイミングと量を指示、ノートに記入するのを確認し、再診時にキャンパスノートと薬手帳を持参するように告げ、4日後再診としました。

4日後の再診時、また新たな薬の袋と薬手帳とともに来院、その中には2日前に耳鼻科で処方されたバラシクロビル[®]とアセトアミノフェン[®]も入っていました。忘れずに持参した薬手帳に4日前の処方歴はなく、2日前の履歴のみが添付されていました。耳鼻科医院でのやり取りの詳細はよくわからなかったのですが、薬手帳にこちらからの処方履歴がない



日々このようなものに囲まれて診療しています

ため、耳鼻科でのダブルチェック、調剤薬局でのトリプルチェックをすり抜け、内服薬は1週間分処方されていました。あれだけ時間をかけて何度も何度も説明したにもかかわらず、『帯状疱疹』が納得、認識、記憶できていず、またこのままにしていたら今後どこか別のクリニックで重複して薬を処方され、過剰に内服してしまう恐れもあるため、看護師と協力しこまめに来院させ、内服薬残薬を袋ごと毎回チェックすることとしました。

当初は痛みのコントロールがうまくいかず、顔面の痛みに加えのどの痛みを訴え「今日はずいぶん扁桃炎の薬が欲しい」などと言ってみたりしていました。もちろん発熱やのどの腫れはなく、扁桃炎の薬など必要であるはずもなく、今思い返してみると、最初の大量に持参したカロナール[®]やアセトアミノフェン[®]は歯科受診時に右顔面の痛みを歯の痛みと捉えられ処方されたものだったのかもしれませんが。しかも複数の医院で処方されていた可能性もあります。

何日も何日も通院してくるうちに最近では認知機能がしっかりしてきており、事細かにノートに記載せずとも前回の会話を覚えており、同じことを何度も繰り返し確認することは少なく、ほぼ内服の飲み忘れもありませんでした。来院のついでに足の悪い妻のためにお土産や頼まれた買い物をしてから帰宅するようになり、本人はそれなりに受診を楽しみにしているようになってきました。最近では「受診することは健康ではないことだが、受診しないとク

リニックのみんなに会えず寂しいので複雑だ」などと言いながら今も通院しています。

患者さんは今年の1月が初診ではなく、以前は別の疾患で昨年7月まで通院していましたが、その頃は特に認知機能に気になるところはありませんでした。コロナ禍の世の中で極端に外出が減少し他人と接することがなく、足の悪い妻との2人暮らしは刺激が少なく、認知機能の低下につながったのかもしれない。

コロナ禍で不要不急の外出が制限され、不要な会話や複数人での会食や集会も慎むよう言われています。まじめな人は家の中でじっとして、最小限の外出で、他人との会話も最小限にし、脳に感じる刺激のマンネリ化で、ご高齢の方は認知症がどんどん進行してしまうような気がします。また過度な手洗いとアルコール消毒も、まじめな人は一度の外出中、

数軒の店をはしごし、店の入口と出口で何度消毒をするのでしょうか。不要不急の外出制限により我慢できないほどのひどい手荒れになってからやっと受診される方も少なくありません。ボロボロの状態でもアルコール除菌を繰り返し、カサカサ、ゴワゴワの状態が無菌で健康なのでしょうか。手洗いや消毒を推奨するニュースでも臨機応変という言葉は流れません。

コロナ禍の世の中がこんなに長い期間かかるとはだれも想像していなかったのでしょうか。しかしまだこの世の中から脱却できない限りはその中でうまく生活していかなければなりません。来院された患者さんに対しどう接し、どう指導できるのか、私がすべきことは何なのか、もう一度改めて考えてみようと思いました。



和田秀文先生を偲んで

馬場直子

神奈川県立こども医療センター(横浜市南区)

横浜市立大学皮膚科学教室の准教授だった和田秀文先生は、2020年8月30日に悪性リンパ腫のために同附属病院にて永眠されました。享年64歳のあまりにも早すぎるお別れとなってしまいました。

和田先生は私が大学で医局長をしていた頃に入局され、その後、1998年から22年間、こども医療センターへ週1回非常勤として外来を手伝いに来てくださり、また自宅も徒歩1分の所にあるご近所でした。奥様の典子さんや、ご子息達とも家族ぐるみのお付き合いがあり、私にとって親戚のような親しい存在でした。

最初に奥様からのメールで訃報を聞いた時、高い崖から突き落とされたような衝撃を覚えました。その時に奥様に送ったメールの一部を引用します。これが私のその時の正直な心境であり、今も全く変わらぬ気持ちです。

和田典子様

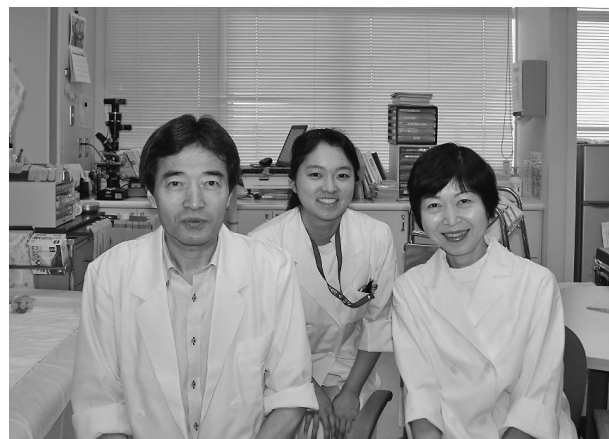
今日、突然の和田先生の訃報に接し、あまりのショックに言葉もありません。仕事も手につかず、一日中ぼーっとしてしまい今日をどんな風に過ごしたのか何も思い出せません。

毎朝、通勤の時に和田家の近くを歩く時、和田先生、典子さん、どうしていらっしゃるかしたら、早くお元気な姿を見せてくださいますようにと、毎日祈っていたのに、絶対に回復されて戻ってくださると信じて、こども医療センターでも和田先生の席とロッカーを空けてお待ちしていたのに、もう本当に神様なんていないのかしら！ いたとしても恨みたくなります!!

典子さん、秀太郎君、光太郎君、ご親族の皆様のお気持ちを思うと、胸が苦しくなります。

本当にどんなにかお悲しみのことかと想像を絶します。

和田先生と初めてお会いしてから26年、様々な



2017年4月木曜日のスナップ。こども医療センター皮膚科外来で和田先生、佐藤愛先生と

先生との思い出が次から次へと脳裏に浮かんできます。

いつも聞かされていたのは、典さんがいかに素敵な愛すべき奥様であるかということ、そして秀太郎君、光太郎君の可愛らしく頼もしい成長ぶり、常にご家族のことばかりでした。

我が家の家族全員も和田先生には本当にお世話になり、いつも感謝し、和田先生が大好きでした。主人や、子ども達に訃報を知らせたら、みんな本当に驚き悲しみ、そしてどうしてあんなにいい先生が!?と憤慨しておりました。うちの子ども達3人とも、幼い頃から本当によくしていただき、多くのことを教えていただき感謝の気持ちでいっぱいだと申しておりました。

お互いの家で1年交代にクリスマスパーティーを開いたこと、一緒にディズニーランドや医局旅行へ行ったことなども、懐かしく思い出され、あの頃の幸せが夢のようです。私たち夫婦は、将来歳を取っても能見台のご近所として老人会のようなところでも和田先生と典さんとご一緒できるねと申しておりました。

そんな一生の長いお付き合いだと信じて、今後の交流も楽しみにさせていただいておりましたのに、

そんな夢もぷつりと途絶えてしまいました。

和田先生は医局でもどの先生からも慕われて一目置かれていらっしやり、医局のお父さんのようなかけがえのない存在感でした。和田先生を失った横浜市大皮膚科学教室は、大黒柱をなくしたようなものです。学生への名講義は評判で、毎年ベストティーチャー賞を獲得していらっしやいましたね。

温かいお人柄でみんなの頼みの綱だった和田先生を失ってしまい、医局の先生達もどんなにか落胆し寂しく残念に思っていることでしょう。

和田先生は本当に心から奥様やご息様を愛し、何よりも大事になさってこられましたね。私は和田先生ほどご家族のことを宝物のように大切にしてくださいました。ご家族でハワイや北海道はじめ様々なところへ、しばしばご旅行にもいらっしやり、楽しい思い出は数限りないことと思

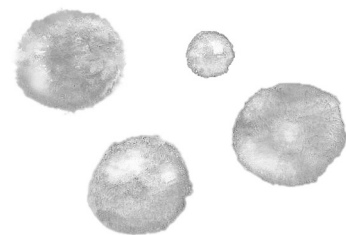
ます。

和田先生はどれほど、もっと生きてきて典子さんや、秀太郎君、光太郎君と時間を共に過ごされたかったか、こんなにも早く逝かれることがどんなに無念だったかと思うと、胸が苦しくなり涙が止まりません。

長い闘病生活を支えてこられた典子さん、本当によく頑張られたと頭が下がります。和田先生は典子さんにどれほど感謝していらしたことでしょう！

これからは、典子さんやご家族の心の中に生き続けられるのですね。ご家族だけでなく、私たち、長年お世話になった者たちの心の中にも和田先生は生きています。

和田先生、長い間大変お世話になり本当にありがとうございました。



もう、食べられなくなってしまったものたち ～淡い思い出とともに～

袋 秀平

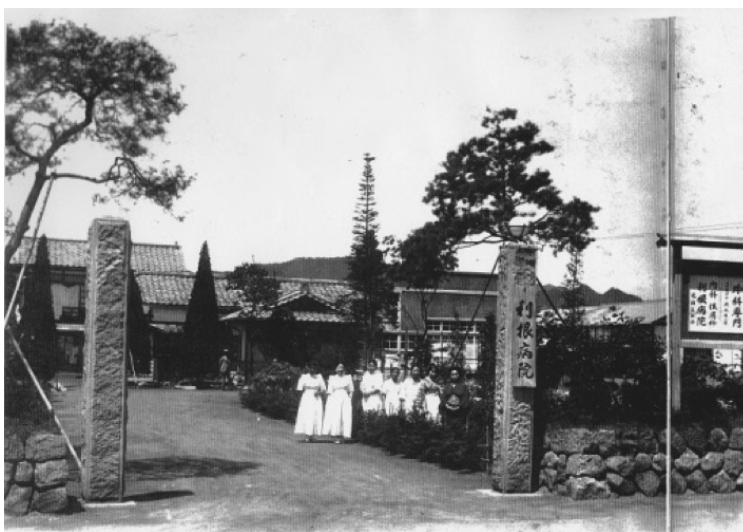
ふくろ皮膚科クリニック(横浜市港南区)

① 糸苺すやの味噌まんじゅう

私の母の実家は群馬県沼田市にありました。曾祖父と祖父が外科医で、「利根病院」という外科の病院を開いておりました。地形学的に沼田は河岸段丘で有名ですが、病院は段丘を上がりきったところで、何年前のNHKの大河ドラマ『真田丸』で脚光を浴びた、沼田城のすぐ近くです。写真は昭和8年に撮られたもので、ちょっと見えにくいですが、右から2人目が祖母です。私の母は同年12月生まれですので、ちょうどこの時おなかの中にいたはずで、祖父は某帝国大学に学び、彼の学生時代の成績表を見たことがあるのですが、教官の中に解剖学の泰斗である西成甫にしせいほの名前を見つけて、歴史を感じました。しかし祖父は母が高校生のころに早世し、曾祖父も高齢となったため私が生まれて間もないころに閉院しました。もう沼田市の方々でも利根病院が存在したことをご存じの方はほとんどいらっしゃらなくなったことと思います。

私にも病院自体の記憶はありませんが、1,000坪を超える広大な敷地と、当時の平屋建ての病室が残されており、祖母はその病室を貸して生活をしておりました。私の父は転勤族でした。東京や名古屋に住んでいた私は夏休みになると母と妹とともに沼田に向かい、2週間ほど逗留しておりました。丘あり池ありの広い庭で虫取りをするのが楽しみで、一日中トンボやセミを追いかけて走り回っておりました。

沼田での生活のもう一つの楽しみは、味噌まんじゅうでした。祖母宅の門を出て1分も歩かないところに「糸苺すや」というまんじゅう屋さんがありました。群馬県民のソウルフードとしてご存じの方



利根病院

も多いと思いますが、餡子の入らない、麴の香りがする楕円形のまんじゅうを4つほど竹串にさして、甘みのある味噌だれをつけて焼くのです。「焼きまんじゅう」と呼ばれることが多いようですが、沼田では味噌まんじゅうと称しておりました。ほとんど毎日のようにお店に通って買いに行きました。注文するとその場で炭火で焼いてくれて、へぎ(で、通じるでしょうか)で包んでくれるのです。寡黙なおじいちゃんと愛想のいいおばあちゃん、おとなしそうな息子さんと営んでおられました。

私が中学生の時に祖母は家を売却し、沼田の拠点はなくなりましたがお墓が残っていたため、時々墓参のついでに糸苺すやに寄ったり、取り寄せたりしておりました。ところがある年、お店があったところの風景が変わっており、道路が拡張されてお店がなくなっておりました。奥に見えるお家の表札の名前に見覚えがあったため思い切ったずねてみますと、おばあちゃんが出てこられて、再開発のため立ち退いて、お店はやめたということでした。その後ほほかのお店のまんじゅうを食べたり、最近ではふ

るさと納税の返礼品としていただいたりしておりますが、お店によって風味が違うため、苺びすやの味に勝るものには出合えておりません。

最近では尾瀬の入り口、くらいにしか見られていない沼田市ですが、私にとっての「夏の思い出」は尾瀬でも水芭蕉の花でもなく、苺びすやの味噌まんじゅうなのです。

②エスワイルのガトー・ネセラード

大学に入学して、受験勉強から解放された袋青年は、都内の街歩きを始めました。ただ歩くのではなく、おいしいケーキ屋さんを目指してのことでした。おしゃれなケーキ屋さんが巷に現われ始めたのがちょうどそのころでした。今のようにネットの情報があるわけでもなく、本を何冊か購入して良さそうな店を探し、いくつもお気に入りの店が見つかりましたが、中でも思い出深いのが神田小川町にあったエスワイルです。「エスワイル」という名前ピンときた方もいらっしゃるかもしれませんが。山下町のホテルニューグランドで、戦前に料理長をしていたサリー・ワイル氏の名前に由来しているものです。初代のパティシエさんがワイル氏のお弟子さんだったようです。このお店のケーキでとくに気に入っていたのが、「ガトー・ネセラード」です。どこかの貴族でしたか軍人さんでしたか、栗好きのネセラードさんにあやかった名前だったように記憶しています。簡単に言ってしまうと栗のショートケーキですが、三角形で、重ねたスポンジの間に刻んだ栗の入ったパバロアが挟まれており、表面を生クリームで

コーティング、さらに栗を裏ごししたものがまぶされているのです。生クリームも栗も甘すぎず上品で、何個でも食べられそうでした。ああ、生クリームの海でおぼれたい……。

このお店は私の母校である御茶ノ水の東京医科歯科大学から駿河台下に向かい、左折してしばらく行ったところにありました。さすがに大学から出て病院勤務になり、さらに1999年に開業してからは足が遠のいてしまいました。ある時久しぶりに訪れてみると閉店していて大きなショックをうけたのですが、同じ文京区の春日に移転したという情報があり、行ってみました。味は変わっていませんでしたが、何だか急場しのぎで作られたような殺風景な感じの店構えで不安に思っていたところ、その後まもなく閉店してしまったようです。エスワイルからそう遠くない神保町には柏水堂という90年近く続いていた老舗のケーキ屋さんがあり、エスワイルと並び称せられていたのですが、こちらも数年前に閉店してしまいました。

医科歯科大学は入学後2年間、市川の教養学部に通い、3年目から御茶ノ水のキャンパスに移ります。学部が上がってしばらくしたころにエスワイルに行ったとき、大学の同級生の女性と遭遇しました。私の学年には女性は6人しかおらず、教養学部時代はクラスも違ったためほとんど話したこともなかったのですが、その時はケーキ談議に花が咲きました。彼女は耳鼻科に入局したのですが、30代で病気で亡くなってしまいました。葬儀に参列した際に、エスワイルで会ったことをふと思い出しました。



狂暴トイプードル“ココア”との暮らし

三浦祐理子

深沢皮膚科(鎌倉市)

2011年、東日本大震災のあった1週間前に仔犬を飼い始めました。トイプードルの女の子、名前はチャコ。愛嬌のある甘えん坊の女の子で、理想的なペットでした。子どもが思春期でしたが、仔犬がいるとたわいもないことで会話が進み、お風呂でウンチしたとか、お散歩の途中から抱っこで歩かなくなったとか、話題に事欠きませんでした。腹話術のように犬を抱っこして子どもに「そろそろ起きなさい」「試験勉強しなくていいの？」などと話すと、難しいお年頃の中学生男子も素直に言うことを聞いてくれたような気がしました。ペットとは家族を幸せにするもの、と完全に信じていた時期です。

その9年後、新型コロナウイルスが流行し、緊急事態宣言が発令されました。緊急事態宣言で不要不急の外出を控えないといけないので、自宅にいる時間が増えます。そこで、チャコの新しい妹をお迎えしよう！ 仔犬をうちに迎えよう！ と思いついてしまいました。私は仕事がありますが、高校生と大学生の子ども達は自宅でズーム授業だし、暇を持て余しているので仔犬のお世話もできる。なんといいグッドアイデア！ 私と息子と娘は、反対する夫を尻目にペット屋さんを回りました。チャコの妹だけ

ら同じトイプードルがいいねと近所のホームセンターでトイプードルを買うことにしました。ケージのなかでお座りをしてじっとこちらを見ていて、健気な感じだったのと、初対面でも臆さず私達に甘えてきてパクパク甘噛みしてきて愛嬌があったので、その仔犬をお迎えすることに決めました。

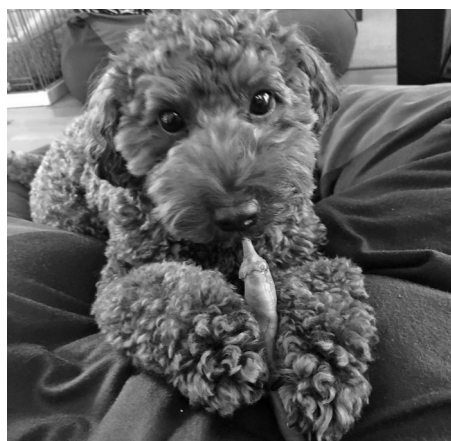
新しい仔犬の名前はココア、色がココア色だったからです。3か月の可愛い仔犬がまさか狂暴犬だとはこの時は誰も思いませんでした。チャコもこれで寂しくないし、一緒に遊んで若返ることを期待しました。ところが、我が家に来てすぐ、マスクをゴミ箱から取り出して、ソファの下に入り込み、大事そうに抱えて籠城しました。私が「こら、マスク返して」と言って取り返そうとすると、ガブリと噛んできました。仔犬ですが、細い乳歯がするどくくいこんで流血しました。寝ている時に「可愛い、いい子いい子」と撫でると、うなり声をあげて怒り、「ギャウ」と言って撫でた手に噛みついてきました。そんなに私と寝るのが嫌ならば、とケージに入れて一人で寝かせようとする、仔犬とは思えないほど大きな声で、ずっと吠え続けるのです。「ママ、ケージから出してください。ベッドと一緒に寝たいです」と聞こえてしまい、2時間以内に私は根負けし、ご近所迷惑にもなるし、と自分に弁明しながらまたベッドに連れて来る。そして隣で私が寝がえりをう

つと、「ギャウ」とまたココアがおそいかかって来る。もうこれでは安眠できません。

ココアはお姉ちゃん犬のチャコにも普段は甘えようとすり寄っていくのですが、「ギャウ！」と言って耳を噛んだりして、チャコを流血させることもありました。それ以来チャコもココアと同じ空



マスクを盗むココア



家庭菜園の唐辛子を盗むココア



お姉さん犬チャコにすり寄る片思いのココア

間では落ち着いて寝られなくなりました。家族全員が次々と噛まれて流血し、私の手背の静脈に歯が当たった時は、リビングの床や壁にドラマの殺人事件現場のように血が飛び散ったのです。このままではいけない、これでは家族もチャコも、不幸になってしまうと、生後5か月の頃からドッグトレーナーに指導をお願いすることにしました。週に1回、私と息子がドッグトレーナーの所に行ってココアの指導をしてもらうのです。でもドッグトレーナーには「犬はリーダー（飼い主）がしっかりしないと、一生言うことを聞いてくれません。もっとお母さんが毅然とした態度で犬に接しないといけません」と言われました。毅然としようとしても、元来優しい性格がウリの私はなかなか怖く怒ったりできず、トレーニングに行くたびに毎回私が怒られてしまい、とうとう行

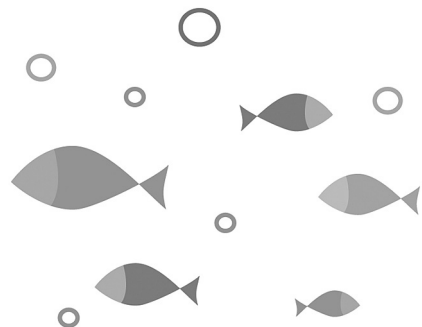


スリングに入ると穏やかになるココア

きたくなくなり、やめてしまいました。

現在は2歳になりますが、2年も経つと狂暴になる時期や予兆を察するのにも長けてきて、この犬の機嫌の良い時だけ都合よく可愛がり、機嫌が悪そうな時は放置したり庭で遊ばせたりと臨機応変な付き合い方を心得てきました。狂暴犬ココアも普段は普通の仔犬で、ボール遊びが大好きで、人にピッタリとくっつくのが好きな可愛いところもあります。

こうしてこちらに余裕が出てくると狂暴なところもチャーミングに思えてきたり……とはなかなか思えませんが……。コロナ禍と仔犬の狂暴期、どちらの収束も願って止みません。



喜太郎脱走事件

山川有子

山川皮ふ科(横浜市神奈川区)

今から5年前、静岡県裾野市のブリーダーさんに依頼していた豆しばが、ようやく我が家にやってきました。まん丸の目につぶらな瞳、ふさふさな毛、待ちに待っていた可愛すぎる柴犬です。名前を喜太郎と名付けました。知らない家に初めて来たのですから、慣れないのは無理ありません。おどおどして人にはちっとも近寄らず、それどころか少しでも近づこうとするものなら、後退りして逃げようとしています。それでも何とか家族を認識し、受け入れてもらえるようにはなりました。

そしてちょうど4年前、私の誕生日に事件は起きました。その日は日曜日。めったにないことなので、家族全員で誕生日パーティーと称して元町の霧笛楼へディナーに出かけました。宴もたけなわ、主人の携帯電話が鳴りました。電話の相手は我が家が契約している大手警備会社。外出SECOMをかけて出かけたところ、家の中でセンサーにひっかかったものがあり、警備会社が緊急出動となったという訳ですが、ここまではよくある話です。

問題はここからです。警備員が安全確認のため家に入ったところ、玄関にいた喜太郎が一目散に家から飛び出したというのです。警備員と喜太郎が家の周りを鬼ごっこ状態になったらしく、それでも捕まえないという報告でした。私たちは甘く考えていました。警備員はすぐに捕まえて家の中に戻してくれるものと信じていたのです。ところが喜太郎を全然捕まえることができず、応援隊員が駆けつけた時には、喜太郎が敷地内から見えなくなっていたというのです。2度目に警備会社から電話があった時には皆、顔が青ざめました。食事はまだまだ途中でしたが、主人だけが急遽帰宅しました。しかしやはり敷地内には喜太郎はいない。帰宅後、家族総出で探し回りましたがどこにも見つけることができず、途方に暮れました。翌日から昼間は仕事で朝夜は捜索、という生活になりました。大きなポスターを作

り、ご近所に貼らせて頂きました。昼間は仕事で捜索できないため、迷子の動物を探す探偵さんを雇いました。それでも手掛かりはほとんどありません。雨が少し降った日は、びしょびしょになってはいないか、風邪をひいてしまわないか、と天気が恨めしく思われるのでした。あんなに可愛い豆しばは、めったにいませんから、誰かに連れて行かれて(可愛がってくればまだしも)高く売り飛ばされてしまわないか、次々悪いことを考えて心配になるのです。

見つからないまま4日目、木曜日。私は休診日で朝から捜索していました。主人が区役所に届けでいたため、その区役所から主人に連絡が入りました。東横線の線路際の敷地で犬がうずくまっている、との情報が入ったそうなのです。私が走って現場に急行したところ、東横線の線路と家の間の隙間にうずくまっている喜太郎がいるではありませんか。日曜日から木曜日まで、何も食べずにここにいたのでしょうか。かわいそうに、どんなにおなかがすいた事でしょう。雨が少し降ったので、少しは水が飲めたかもしれませんが、それでものども渴いた事でしょう。私は少しやせてしまった喜太郎を抱きしめました。同時に現場に来てくださった区役所のお2人の方々も、心から一緒に喜んでくださいました。女性の方は私と一緒に泣いてくださいました。

喜太郎を抱っこしてすぐ気が付いたのですが、前足が、「だらん」としています。明らかに骨折していると思われました。臆病な喜太郎は



喜太郎見つけました！



病院に着きました

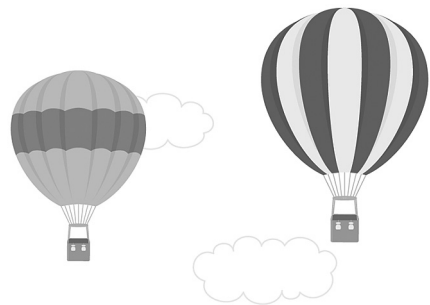
警備員に追いかけられ、非常に怖くてその警備員から逃げるのに必死だったのでしょう。警備員が自宅の玄関側にいたのであれば、喜太郎は玄関の反対側から逃げるしかなかった。反対側のフェンスの下は崖です。フェンスと横の壁にあるわずかな隙間から崖を飛び降りてしまったものと想像されます。そしてその時骨折をしたのであれば、そこから1kmくらい、痛い足を引きずって線路際のわずかな敷地に辿り着いたと思われます。さぞ痛くて辛かったことでしょう。

その日、喜太郎はかかりつけの動物医院から紹介状をいただき、大きな動物病院を受診することになりました。すでに夕方。入院して手術を受けることになった時、家族みんなが病院に集まりました。そして手術は無事成功。1週間後に退院しました。



退院して元気になりました

その後、喜太郎は元気になりました。しかし、飛び降りた崖のある庭で、以前のように遊ぶことはなくなりました。そして、家のそばを離れることができなくなり、散歩は家の前を何度も行ったり来たりするだけになりました。心に負った傷が深く、今も家が見えなくなる遠くまでは行こうとしません。普通の犬と少し違う、かわった豆しばになってしまいましたが、それでも、元気で一緒にいてくれるだけで、私たちは十分、幸せです。



クイーンのと月(moon & month)の話

山田裕道

国際親善総合病院(横浜市泉区)・沢野クリニック皮膚科(横浜市旭区)

横浜三塔といえば横浜市民・神奈川県民の先生方にはおなじみだと思います。すなわちジャックの塔(横浜市開港記念会館)、クイーンのと(横浜税関本庁舎)、キングの塔(神奈川県庁本庁舎)の三塔です。ジャックの塔の水彩画は本誌17号(2010年)の表紙を飾ったのでご記憶の会員もいらっしゃるでしょう。私はジャックの塔の写真をベストショット(そう思っているのは私だけか)で持っているのですが、次にクイーンのとを撮影に行きました。クイーンのとのとは球状に近いので、太陽が当たっている部位は明るく輝き、光が届かない部位は影になることに気づきました。裏玄関(海側の玄関)に向かって(ほぼ東側に立って)撮影したとき、太陽は私の左後ろ30度くらいにあったので、ととの大部分は輝いていましたが右端にわずかに影がありました。あたかも満月を3日位過ぎた(後で説明する居

待月)のような光り方です。すなわち観察者の立ち位置と太陽の位置関係で、ととの輝き方が月の満ち欠けのように変化します。もう少しわかりやすく説明すると、太陽が私の真後ろの東(日の出間もなく)にあれば、裏玄関側から見上げたととは全面が輝いて満月を呈し、正午ごろはととの左半分が輝いて下弦の半月を呈し、太陽がととの向こう側に移動すれば(日の入り前)ととは全面が影となり新月を呈することが予想されました。私が税関の正面玄関(海岸通側)に立てば前述とは逆に、朝が新月、昼が上弦の半月、夕が満月になるでしょう。そこでふと思いました。この写真はアリバイ作り、アリバイ崩しに使えるな。容疑者が〇月〇日夕刻横浜税関裏玄関を出た、とって証拠写真を示してもクイーンのとのとが有明の月を呈していなければ、夕刻の写真ではなくアリバイは崩れます。私も推理小説「点と線」が書けるか?

次に本物の月の満ち欠けの話です。月の満ち欠けは30日周期ですから、地球から見た月の形(月の光っている部分の形)は30通りあり、その半分に月の名称があります。三日月、半月、満月は小学校の理科で習います。その他に新月、二日月、十三夜、十六夜(16日の月)、下弦の月(23日の下弦の半月)、有明の月(下弦の三日月・26日の月)などがあります。特に十六夜や有明の月は古典文学にも出てきます。さて満月の後17日(十七夜)の月を立待月、18日の月を居待月、19日の月を寝待月といふのはご存知でしょうか。それぞれ月の出を「もうすぐだから立って待とうか」「しばらくかかるから座って待とうか」「まだまだ時間がかかるから床にはいつて待とうか」という意味です。ちなみにこの頃は1日ごとに約50分遅れて月が出ます。江戸時代日本橋室町にある飛脚屋で、屋号を「十七屋」といふ店がありました。そのころは、おわかりですね、たちまち着く。



クイーンのと



15日目
(十五夜・満月・望月)

16日目
(十六夜)

17日目
(立待月)

18日目
(居待月)

19日目
(寝待月・臥待月)

最後は暦の話です。現代の暦は太陽暦で1年365.24日ですから4年で1日余ります。したがってこの年は2月29日を設けて閏年と称して調整しています。江戸時代の暦は太陰太陽暦といわれ、新月から三十日月までが一月です。正確には月の周期は29.53日なので、一月には29日の月と30日の月がありました。1年で354.3日なので太陽暦に比べて11日少ない。3年たつと33日遅くなります。そこでおよそ3年に1回（正確には19年の間に7回）13か月の年を設け調整しました。ただし12月の次に13月が来るわけではありません。歴史小説などで、

閏〇月、という記載に気づかれた読者もおられましょう。慶応4年には閏4月がありました。これは本来の4月の後にもう1回4月があってこれを閏4月とって区別しました。慶応4年には4月が2回あったわけです。ただし閏は毎回4月にあるわけではなく、すべての月に閏があり月と季節がずれないように工夫がなされていました。しかしながら江戸時代末期の弘化元年（1844）から太陽暦に代わった明治5年（1872）まででいうと、12月と1月に閏はありませんでした。師走と正月が2回あったら大変ですよ。

